

信毎こどもスクール体験記の紹介

◆スクールに参加した小学生から「体験記」が届きました。



柳澤佑果さん
須坂市
小学3年

わたしは、図工が大好きです。お父さんにいつも、うちゅうや未来のことをお話ししてもらっています。こどもスクールのことを新聞でみつけたのはお父さんです。わたしは、ロボットにきょうみがあったので、行くことにしました。

高橋さんは、いろんなロボットの話をしてくれました。「エボルタ」は、テレビでみるより小さくてびっくりしました。「FT」は、女の子みたいに美しく歩くロボットです。ロビッドは8センチもジャンプする世界のロボットです。子どものころ、高橋さんは、アトムのまんがをみて、ロボットをつくるきっかけをみつけたそうです。ロボットが人の心を動かすなんてすごいなと思います。わたしは、ロボットをつくる人になりたいです。お母さんは、「そのためには勉強をがんばるんだよ」といっていました。高橋さんみたいになれるようにがんばりたいです。また、ロボットたちにあいたいな。



林良祐くん
木曾町
小学5年

ぼくが一番楽しかったのは、高橋さんのロボットを間近で見られたことです。理由は、最近テレビやインターネットで見たロボットの「エボルタ」や「ロビッド」を実際に自分の目で見たこと、世界一のジャンプのできるロビッドが、ぼくの住んでいるいなかの木曾町でジャンプしてくれたからです。高橋さんの話を聞いてみると、ロボットのきじゅつはかなり進んでいるなと思いました。もう一つ、楽しかったのは、ロボット作り（高橋さんの体験教室）です。ブロックでロボットみたいのを作ったことがありますが、本格的な動作がロボットは作ったことがなかったです。ずーっと前から楽しんでいた。完成するのがおそくて、あまり動かせられなかつたけど、本当に泳ぎみたいに動いて、すごうれしかったし、作る時にいろいろ頭をつかって出来たので、良かったです。

初めての体験で、なにをやるか心配だったが、楽しく、普段できないことが出来たので、うれしかったです。また来年も楽しみにまわっているの、よろしくお願いします。



中村恵理子さん
松本市
小学5年

私は、「こどもスクール」で知ったことがあります。まず、高橋先生の「ロビッド」が、あんなに自然な動きが出来るのは、モーターがたくさんあるから、という事です。それに、高橋先生のロボットは、一つの動きに一つのモーターがないとだめだということも知りました。人間なら、一つのかんせつでいろいろな動きができるので、ロボット作りは大変だな、と思いました。

それから、高橋先生がロボットを1人で作っているとき、すごいと思いました。アイデア+ものづくりのくりかえしで、最先端のロボットが生まれるということ、夢があつて、すばらしいことだと思います。高橋先生、ロビッド、FT、エボルタに会えて楽しかったです。



毎週日曜日 信毎こども新聞

しいちゃん、ばあちゃんのこどものころはどんなのだったなーの？

こども記者の記事

初めてのチャレンジ、大募集！

みんなの学校ではなにが流行ってる？

「信毎こども新聞」にのせるこども記者の記事を募集しています。記事の文字数は400字くらい。記事に合う写真も付けて、住所、名前、学年、電話番号を書いて、信濃毎日新聞地域活動部へ郵便（〒380-8546長野市南泉町657）か、ファクス（026-236-3193）で送ってください。記事のしめ切りはありません。いつでも受け付けています。

取材や記事のことはよくわからないけど、とりあえずこども記者にチャレンジしてみたい！

という人もいつでも気軽に電話がお手紙かファクスをくださいね。

●お問い合わせ ● 信毎の記者がいてほしいに教えてくれるなーの

信濃毎日新聞地域活動部 電話026-236-3110

ここだけのヒミツ！ベテラン記者の失敗談

一年生

6本目 長野県こども新聞 販売局企画管理部 宮坂博昭部長

取材の前に持ち物の確認

信濃毎日新聞社に就職した当時、携帯電話はなく、会社にいる人が出先の記者と連絡をとるには「ポケベル」を使っていました。ポケベルの「ピー、ピー」という耳障りな呼び出し音がなったら、記者は近くの公衆電話を探して会社に電話するのである。夜、朝刊原稿の締め切り前に事件や事故が発生してないか警察署に電話で確認すると「大型トラックが道路から転落した」とのこと。支社長に「現場に行きます」と電話しました。カメラを持った、ノートも持った、ボールペンもポケベルに入っている。準備万端のつもりで下宿を飛び出し現場に着くと、大型トラックが水田に横転。警察官や近所の人に話を聞いていううちに「締め切り間際」ということはすっかり忘れていました。

思い出してあわてて支社に電話すること、をほつき歩いてるんだ！ポケベルと呼んだらうーと支社長の罵声。アツ、ポケベルがない！原稿は、支社長が呼び出した先輩記者が電話取材で書き上げ、何とか朝刊に間に合わせてくれました。会社の人に迷惑をかけたばなしの一夜。未明に帰宅した下宿の部屋で、ポケベルが鳴り続けていました。新聞社で働くものは、常に連絡が取れるようにしておかなくてはならないことが身にしみました。取材現場を離れた今も、出勤前に「携帯よし、ペンよし、財布よし」とポケベルをたたきながら確認しています。

こども記者、活躍中です。

信毎こどもスクールのくわい様子は、こども記者たちが11月8日（日）と15日（日）付紙面で伝えました。

信毎こども新聞

身近な木で工作に挑戦

信毎こども記者ニュース、ホームページで読めます。

バックナンバーも読めるよ

<http://www8.shinmai.co.jp/nie/kodomokisha.html>